

職 場 体 験

完 全 ガ イ ド

会社員編

カルビー
ハウス食品
サントリー
雪印メグミルク



66

食べものの会社

4 この本で紹介している企業の「SDGs トピックス」について

5 カルビー 生産・製造・品質管理

6 加籠六孝一さんのはたらく会社 カルビー【会社紹介】



8 品質審査部 食品法令課 加籠六孝一さんの仕事

- ・食品表示を承認する
- ・パッケージの校正をする
- ・情報を収集・共有する

11 カルビーの加籠六孝一さんに聞きました
「法令をまもって、お客さまに安全な商品を提供します」

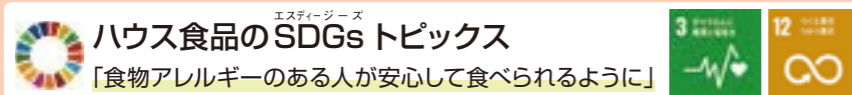
13 カルビーの加籠六孝一さんの一日

14 カルビー人財・組織開発部の富永玲奈さんに聞きました



15 ハウス食品 企画・マーケティング

16 鈴木華さんのはたらく会社 ハウス食品【会社紹介】



18 事業戦略本部 食品事業一部 鈴木華さんの仕事

- ・新商品を企画する
- ・企画を商品化する
- ・新商品を市場へ送り出す

21 ハウス食品の鈴木華さんに聞きました
「『食』を通じて、人のくらしをゆたかにしたい」

23 ハウス食品の鈴木華さんの一日

24 ハウス食品人事総務部採用担当の南泉希さんに聞きました



25 サントリー 研究・開発・設計

26 川崎雅俊さんのはたらく会社 サントリー【会社紹介】



28 水科学研究所 川崎雅俊さんの仕事

- ・新しい水源を探す
- ・水源地の調査をする
- ・水質の分析をする
- ・調査結果を活用する

32 サントリーの川崎雅俊さんに聞きました
「人が自然とくらしつづけられる方法を見つけたい」

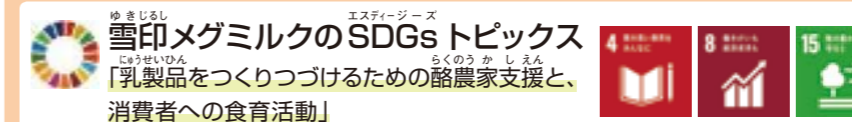
35 サントリーの川崎雅俊さんの一日

36 サントリー人事部採用担当の小國愛実さんに聞きました



37 雪印メグミルク 営業

38 松本希実子さんのはたらく会社 雪印メグミルク【会社紹介】



40 関東販売本部 首都圏中央支店 松本希実子さんの仕事

- ・提案書をつくる
- ・スーパーへ営業に行く

43 雪印メグミルクの松本希実子さんに聞きました
「『食べること』を通してたくさんの人を幸せにしたい」

45 雪印メグミルクの松本希実子さんの一日

46 雪印メグミルク人事部人事労務グループの
岩野大樹さんに聞きました



47 **会社にはさまざまな役割の人がいる！
仕事の種類別さくいん**

*本書掲載の内容は2020年3月末現在のものです。

この本で紹介している企業の
「SDGsトピックス」について

●わたしたちが地球に暮らしつづけるために、企業としてできること

SDGsは2015年に国連で採択された、「持続可能な開発」のための国際社会共通の目標です。「持続可能な開発」とは、未来の世代がこまることのないように、環境をまもりながら現在の世代の要求を満たしていくことです。2016年から2030年の15年間で、17の目標の達成をめざすことが決められました。採択には日本をふくむ150以上の国連加盟国首脳が参加しました。

SDGsは世界共通のものさしであり、国、組織、企業、学校、個人などそれぞれの立場で目標に取りくむことが

可能です。企業には、その社会における責任をはたすために、技術や知恵、資金をいかして課題の解決にとりくむことが期待されています。とりくみを進めることで企業価値が高まり、新たな事業が生まれるという利点もあります。

この本では、環境保護や社会貢献活動といったサステナビリティ（持続可能性）を重視する企業を取材し、その企業がとくに力を入れているとりくみや、みなさんに知ってほしいトピックスを選んで紹介しています。

エスディーゼーエス
SDGsの17の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

目標3
すべての人に健康と福祉を

目標6
安全な水とトイレを世界中に

目標9
産業と技術革新の基盤をつくろう

目標12
つくる責任 つかう責任

目標15
陸の豊かさも守ろう

目標1
貧困をなくそう

目標4
質の高い教育をみんなに

目標7
エネルギーをみんなにそしてクリーンに

目標10
人や国の不平等をなくそう

目標13
気候変動に具体的な対策を

目標16
平和と公正をすべての人に

目標2
飢餓をゼロに

目標5
ジェンダー平等を実現しよう

目標8
働きがいも経済成長も

目標11
住み続けられるまちづくりを

目標14
海の豊かさを守ろう

目標17
パートナーシップで目標を達成しよう

生産・製造・品質管理



カルビー

品質審査部 食品法令課

加籠六孝一さんの仕事

カルビーは東京都千代田区に本社を置く、スナック菓子を製造・販売している会社です。ここでは製品の品質を管理する仕事のうち、法令（法律と公的な決まり）と照らしあわせて、パッケージの食品表示をチェックする加籠六孝一さんの仕事をみていきましょう。

カルビー

品質審査部 食品法令課

加籠六孝一さんの仕事

カルビーが製造・販売する商品が、安全で安心なものかを調査するために置かれているのが品質保証本部です。そのなかで、加籠六さんの所属する食品法令課は、商品の企画内容やパッケージのさまざまな表示をチェックし、違反をしていないか確認をする仕事をしています。

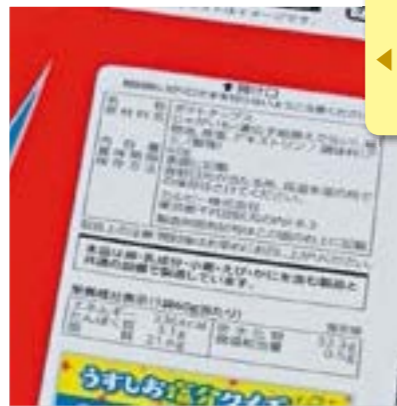
食品表示を承認する

■食の安全・安心を まもる仕事

品質保証本部は大きく、原材料の安全性やパッケージの表示を確認する品質審査部と、商品がルールどおりに生産されているかを確認して、品質改善の支援などを行う品質監査部に分かれています。

加籠六さんは、品質審査部のなかの食品法令課に所属しています。食品の表示に関して、原材料やアレルギー*1などの表示や誤解をまねく表現などについて、法令*2でさまざまな決まりが定められています。

加籠六さんたちは、法令にもとづいて、新商品に使うこ



パッケージの裏面には、商品の名称や原材料名、保存方法、アレルギーなどの情報が表示されています。

とばにあやまりや違反がないかを調べたり、パッケージの表示をチェックしたりする仕事をしています。お客さまに安心して商品を買ってもらうために大事な仕事です。

■新商品に使うことばを 確認して承認する

新商品が出るときには、商品企画の担当者から企画内容

を確認してほしい、と依頼がきます。まず、「北海道の新じゃがを使って、塩味をひかえたポテトチップスを『アラ・ポテとうすしお味』という商品名で発売したい」という情報が、コンピューターで共有されます。

加籠六さんは、企画の内容を確認し、商品名や商品について表現することばが、法令に照らしあわせて問題がないかを調べます。

たとえば、商品名が「うすしお味」と味を表現すること



商品企画の担当者から、企画を出す前に、いま考えている商品の原材料や表現などについて、法令上問題がないかを相談されることもあります。

ばであれば問題ありませんが、「うすしお」だけだと、この商品が「減塩」の商品だとお客さまに誤解される心配があります。「減塩」と表示する商品は、法令の基準を満たしていることの科学的な根拠をしめす必要があります。

しっかりと確認し、問題がなければ企画を承認します。

■パッケージの 表示内容を確定する

企画内容の承認が終わると、次は商品開発の担当者が作成した、パッケージに表示する情報を確認します。

食品添加物の表示の決まりや法令などを見ながら、足りない情報はないか、問題はないかを確認します。



パッケージの校正をする

■表示が正しく 入っているか確認する

表示内容が決まったら、商品企画の担当者によって、パッケージが製作されます。表示内容が入ったパッケージ全体のデザインができると、その校正紙*を加籠六さんたちが確認します。

パッケージの裏面や表面に記載された表示に関して、必要な情報が入っているかなど、チェックリストと見くらべな

がら一つひとつチェックしていきます。

内容だけではなく、表示される位置の確認も重要な仕事

です。表示が正しい位置に入っていないと、印刷をしたときに、文字やマークが切れたり、ずれたりするからです。



パッケージの校正紙を、チェックリストと照合しながら、チェックします。

*本番の印刷を行う前に、文字やデザイン、色味などを確認するためにためし印刷をした紙の事です。

カルビーの加籠六孝一さんに聞きました

インタビュー

法令をまもって、お客さまに安全な商品を提供します

商品を安全に市場に出すための最後の関所

Q この会社に入ったきっかけはなんですか？

わたしは小さなころから食べものが好きでした。大学時代には食品加工について勉強し、将来は食品をつくる会社ではたらきたいと思っていたのです。

就職活動中はいろいろな会社について調べましたが、おいしいスナック菓子をたくさん販売しているカルビーに、いちばん興味をもち、応募しました。

でも、大好きでよく食べていた「じゃがりこ」がカルビーの製品だったことは、採用が内定してからわかったことでした。親しんだお菓子がカルビーの商品だったことに、会社との縁を感じました。



大阪府出身。大学では農学部で園芸食品利用学を学びました。大学卒業後、1999年にカルビー株式会社に入社。1年間の研修をへて、愛知県の名古屋支店で営業、京都工場では品質保証の仕事にたずさわりました。2009年から本社勤務となり、2015年から食品法令課で食品表示の承認の仕事をしています。

専用の透明スケールで、表示の位置をチェックします。賞味期限は工場ですべて印字するので、そのスペースの確認も行います。

表示内容や位置を確認して、問題があれば、商品企画の担当者に伝え、修正を依頼します。修正されたものがきたら、再度チェックを行い、なおっていれば、加籠六さんの確認作業はここで終わりです。

記載された情報の表示位置を確認するときは、専用の透明スケールを使います。

バーコードなど、大きさや表示する位置が決まっているほかの情報も確認します。

情報を収集・共有する

■法令の改定や変更がないかチェックする

食品表示に関する法令や制度は、たびたび改定・変更が行われるので、つねに情報を確認して注意をはらいます。新しい情報が出たら、いつまでにどの表示を切りかえたらよいのかなどを確認し、課で情報を共有します。

また、製造工程で異物が混入したり、アレルギーを起こした人が出たりして、商品を回収したほかの会社のケースがあれば、原因などを確認して、同じ事故をふせぐための参考にします。

■会社の表示方針を社員に知らせる

安全な商品を提供するためには、品質保証を担当する部だけではなく、社内全体で品質の管理にとりくむ必要があります。

食品法令課では、法令をも

とにして決めた、会社の表示方針を、社員に知ってもらうための勉強会やワークショップを開催します。

表示の表記ルールや、法令の改定にもとづく表示の切りかえ期限などを、わかりやすく社員に伝えます。

勉強会では、会社の表示方針、表示のルールを各部門で共有できるように説明します。



■取材協力

株式会社 マミーマート
カルビー 株式会社
サントリーグローバルイノベーションセンター 株式会社
サントリーホールディングス 株式会社
ハウス食品 株式会社
雪印メグミルク 株式会社

■スタッフ

編集・執筆 青木一恵
安藤千葉
桑原順子
田口純子
三島章子
撮影 糸井康友
大森裕之
竹内洋平
校正 菅村薫
渡辺三千代
デザイン sheets-design
編集・制作 株式会社 桂樹社グループ



食べものの会社 **66**

カルビー・ハウス食品・サントリー・雪印メグミルク

発行 2020年4月 第1刷

発行者 千葉 均
編集 梶屋 洋子
発行所 株式会社 ポプラ社
〒102-8519
東京都千代田区麹町4-2-6
電話 03-5877-8109 (営業)
03-5877-8113 (編集)
ホームページ www.poplar.co.jp
印刷・製本 大日本印刷株式会社

ISBN978-4-591-16542-3
N.D.C.366 47p 27cm
Printed in Japan

ポプラ社はチャイルドラインを応援しています

18さいまでの子どもがかけるでんわ

チャイルドライン。

0120-99-7777

毎日午後4時～午後9時 ※12/29-1/3はお休み



☎ 電話代はかかりません
携帯(スマホ)OK

18さいまでの子どもがかける子ども専用電話です。

困っているとき、悩んでいるとき、うれしいとき、
なんとなく誰かと話したいとき、かけてみてください。

お説教はしません。ちょっと言いにくいことでも
名前は言わなくてもいいので、安心して話してください。

あなたの気持ちを大切に、どんなことでもいっしょに考えます。



チャット相談は
こちらから

- 本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。
- 落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。小社宛にご連絡ください。電話0120-666-553、受付時間は月～金曜日、9:00～17:00(祝日・休日は除く)。
- 読者の皆様からのお便りをお待ちしております。いただいたお便りは制作者にお渡しいたします。

P7073066